

2020年版

# 惣菜白書

—ダイジェスト版—

---

一般社団法人日本惣菜協会

調査対象期間 2019年1月～2019年12月

## 第一章 惣菜市場の動向

1. 調査概要
2. 惣菜市場規模
  - ① 2019年のトータルマーケットは  
前年比100.7%の10兆3,200億円
  - ② 惣菜市場規模の算出の方法
  - ③ 業態別直営店、テナント売上比率(2019年)
  - ④ 業態別カテゴリーマーケット
3. 調査結果の詳細
  - ① 今回の調査対象企業の総売上高と食品売上高の比率
  - ② 惣菜売上高の推移
  - ③ カテゴリー別惣菜売上状況
  - ④ 3年後(2022年)の惣菜売上高予測
  - ⑤ おせち料理の売上高(2019年)
  - ⑥ 恵方巻きの売上高(2019年)
  - ⑦ 惣菜売場の運営方法
  - ⑧ 2~3年後の直営調理状況予測
  - ⑨ 使用国産原料の増減
  - ⑩ 品揃えで意識する客層
  - ⑪ 現在、品揃えをしている惣菜カテゴリー
  - ⑫ カテゴリー別の品揃え品目
  - ⑬ 惣菜カテゴリー別の今後の取扱いの予測
  - ⑭ 今後注力する商品
  - ⑮ 現在、惣菜売場で行なっている施策
  - ⑯ 今後惣菜売場で重視する施策

## 第二章 消費者動向

1. 調査概要
  - ① 調査の設計
  - ② 調査対象者フェイスシート
  - ③ 調査対象品目
2. 調査結果の要約
  - ① 惣菜の種類別利用状況
    - (1) 最近半年間での惣菜の購入頻度
    - (2) 最近1週間での惣菜の購入頻度
    - (3) 購入場所別にみた惣菜の購入頻度
    - (4) 食事時間別にみた惣菜の利用状況
    - (5) 食事機会別にみた惣菜の利用状況
  - ② 惣菜購入に関する時系列分析
    - (1) 1回あたりの購入種類
    - (2) 惣菜の単価の目安
    - (3) 月平均購入金額
    - (4) 惣菜類の購入頻度の増減
    - (5) 惣菜類の価格感の変化
    - (6) 今後の惣菜の利用意向
    - (7) 惣菜の消費期限の確認
    - (8) 惣菜の賞味期限の確認
    - (9) 惣菜の原料・原産地についての表示の確認
    - (10) 惣菜の遺伝子組み換えについての表示の確認
    - (11) 惣菜の添加物表示の確認
    - (12) 惣菜のアレルギー表示の確認
    - (13) 惣菜のカロリー表示の確認
    - (14) 惣菜購入時の選択基準
    - (15) 今後購入したいと思う惣菜
    - (16) 特定の購入先の有無
    - (17) 惣菜を購入しやすい店の条件
    - (18) 今後、通信販売で惣菜を購入する機会

- ③ 惣菜に関する意見
  - (1) 惣菜全体に対する評価
  - (2) 売り方について
  - (3) 調理時間について
  - (4) 惣菜の経済性について
  - (5) 惣菜の作り方について
- ④ 食品全般に関する意見
  - (1) 2~3年前と比べて食事の変化
  - (2) 食の安全・安心について
- ⑤ おせちに関する意見
  - (1) 購入について
  - (2) おせちの購入場所
  - (3) おせちの購入金額
- ⑥ 恵方巻きに関する意見
  - (1) 購入について
  - (2) 恵方巻きの購入場所
  - (3) 恵方巻きの購入本数
  - (4) 恵方巻きの購入金額(1本あたり)
- ⑦ 袋物惣菜に関する意見
  - (1) 購入について
  - (2) 購入した商品
  - (3) 袋物惣菜の購入場所
  - (4) 袋物惣菜の1カ月購入回数
  - (5) 袋物惣菜の購入金額
  - (6) 袋物惣菜の購入理由

## 参考資料編

- 惣菜に関する市場規模について  
「家計の食料飲料支出額」(国民経済計算)  
調査票  
「惣菜販売動向」に関する調査  
(専門店用)  
「惣菜販売動向」に関する調査  
(百貨店、GMS、SM、CVS用)  
お惣菜に関するお伺い(消費者用)

一般社団法人日本惣菜協会では、1980年より惣菜に関する調査研究を開始し、惣菜の業態別市場規模や事業者動向、消費者動向などを取りまとめた「惣菜白書」として刊行し、今年で16冊目となります。

「惣菜白書」は、惣菜が生活者の食生活に欠かせない社会的なインフラとして成長してきた過程を毎年追跡し、業界の現状を広く把握、白書としてとりまとめると同時に、行官界においても資料として活用されています。惣菜業界唯一の基礎データ集として、行政、大学、研究機関、マスコミなど業界外からも注目を集めております。

2019年の市場規模は10兆3,200億4,300万円となり、毎年成長を遂げております。このように市場が拡大していることは、生活者のニーズが変化していく中、惣菜には高い期待が寄せられている事の表れだと考えます。しかし、今般のコロナウイルス禍は市場に大きな影響を及ぼし、今後のライフスタイルは劇的な変化が想定されます。新しい業界課題が追加されることとなり、生活者への貢献と業界発展を、更に模索して行かねばなりません。

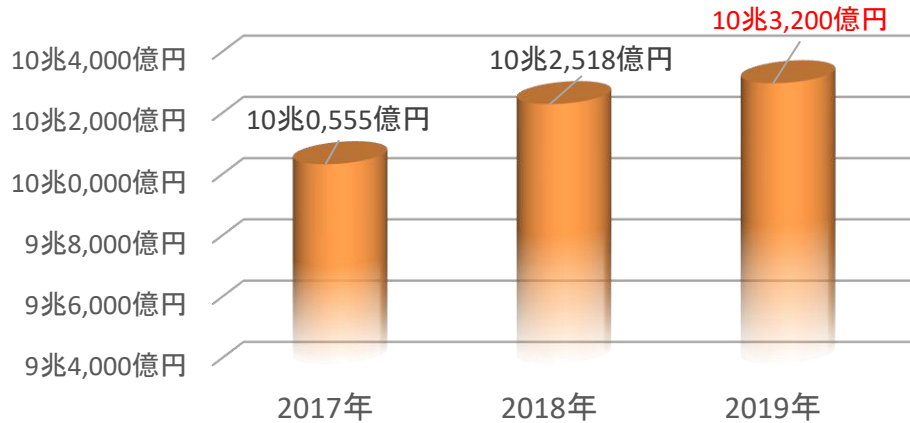
皆様におかれましては、この惣菜白書をベースに新しい知見を加えられ、事業計画や商品開発等にお役立ただければ幸甚に存じます。最後に、調査にご協力頂きました皆様には、心より感謝申し上げます。

## 惣菜の定義

市販の弁当や惣菜など、家庭外で調理・加工された食品を家庭や職場・学校・屋外などに持ち帰ってすぐに(調理加熱することなく)食べられる、日持ちのしない調理済食品としている。したがって、事業所向け給食および、調理冷凍食品やレトルト食品など比較的保存性の高い食品は除いている。

- |      |     |  |
|------|-----|--|
| 米飯類  | ・・・ | おにぎり、寿司、弁当など   |
| 調理麺  | ・・・ | 調理済み焼きそば、うどん、そば、スパゲティーなど   |
| 調理パン | ・・・ | サンドイッチなど<br>※ 一般に常温売場で販売されている菓子パンは含まない   |
| 一般惣菜 | ・・・ | 和・洋・中華の惣菜、煮物、焼物、炒め物、揚物、蒸し物、和え物、酢の物、サラダなど   |
| 袋物惣菜 | ・・・ | ポテトサラダ等のサラダ、肉じゃが、鯖の味噌煮など<br>※ 熱容器もしくはプラスチックフィルムを袋状に形成して包装したものを、包装後低温殺菌処理し、冷蔵にて流通する日持ちのする(おおよそ30日程度)調理済み包装食品。<br>レトルト食品は除く。 |

## 1. 惣菜市場規模の推移



	2017年	2018年	2019年
惣菜市場規模	10兆0,555億円	10兆2,518億円	10兆3,200億円
対前年比	102.2%	102.0%	100.7%

惣菜市場規模は2017年に10兆円を突破。  
2019年の伸びはやや鈍化した<sup>1</sup>が、順調に推移。

惣菜白書本誌では、2008年からの市場規模推移を見ることができます。

## 2. 「食」の市場規模と構成比推移

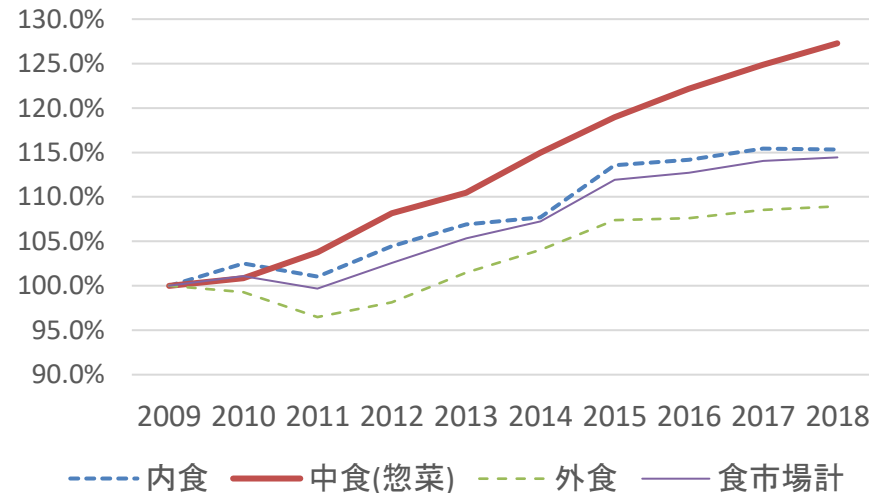
食市場全体の中でも特に惣菜市場の成長は著しく、10年前と比較すると**127%**を超えてきており、高齢化・核家族化・女性の社会進出などライフスタイルの変化を反映して、惣菜の利用が大きく増加していると考えられる。

	内食	中食(惣菜)	外食	食市場計
2009年	31兆2,010億円	8兆0,540億円	23兆6,599億円	62兆9,149億円
2018年 <sup>*</sup>	35兆9,875億円	10兆2,518億円	25兆7,692億円	72兆0,085億円
09年-18年比	115.3%	<b>127.3%</b>	108.9%	114.5%

<sup>\*</sup> 発刊時点で2019年外食市場規模(7月頃)及び内閣府「国民経済計算」2019年分統計(12月頃)が未発表のため、2018年数値で比較しています

各分野堅調な中、中食(惣菜)市場が国内の食シーンをけん引している。

内食、中食(惣菜)、外食の市場規模推移(09年比) 単位: %



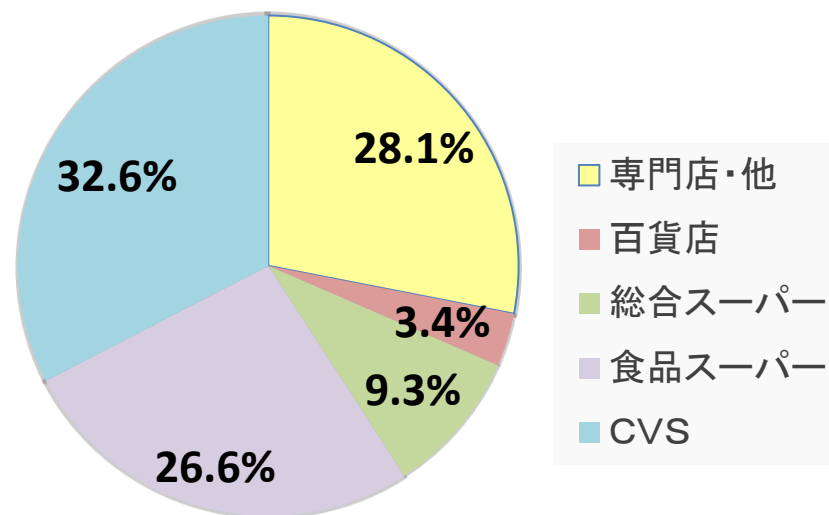
--- 内食    — 中食(惣菜)    - - - 外食    — 食市場計

## 3. 業態別市場規模

惣菜白書本誌では、各業態別のカテゴリ構成比も掲載。

業態別 市場規模	2018年		2019年		
	市場規模	構成比	市場規模	構成比	前年比
専門店・他	2兆9,542億円	28.8%	2兆8,961億円	28.1%	98.0%
百貨店	3,596億円	3.5%	3,560億円	3.4%	99.0%
総合スーパー	9,481億円	9.2%	9,639億円	9.3%	101.7%
食料品スーパー	2兆6,824億円	26.2%	2兆7,406億円	26.6%	102.2%
CVS	3兆3,074億円	32.3%	3兆3,632億円	32.6%	101.7%
合計	10兆2,518億円	100.0%	10兆3,200億円	100.0%	100.7%

業態別構成比(2019年)



◆ 「業態別構成比」では、総合スーパー、食料品スーパー、CVSが増加。

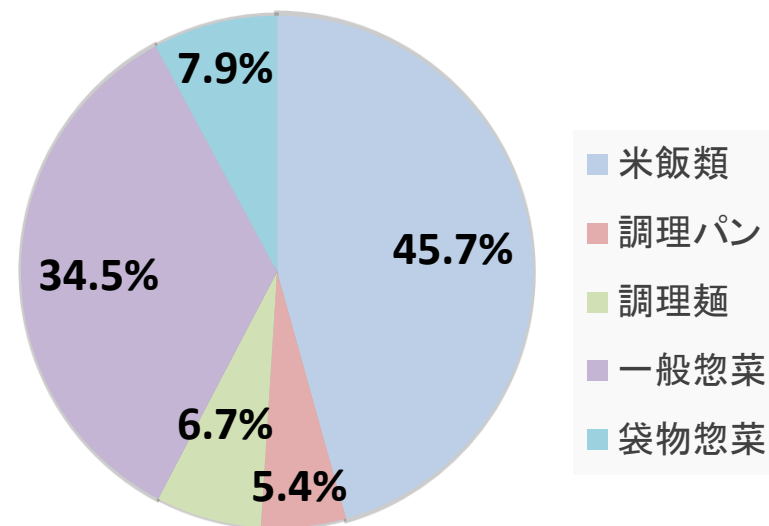
◆ 専門店・他、百貨店が減少している。

## 4. カテゴリー別構成比

惣菜白書本誌では、各業態別のカテゴリー構成比も掲載。

業態別 市場規模	2018年		2019年		
	市場規模	構成比	市場規模	構成比	前年比
米飯類	4兆7,596億円	46.4%	4兆7,123億円	45.7%	99.0%
調理パン	5,182億円	5.1%	5,523億円	5.4%	106.6%
調理麺	5,853億円	5.7%	6,877億円	6.7%	117.5%
一般惣菜	3兆6,632億円	35.7%	3兆5,565億円	34.5%	97.1%
袋物惣菜	7,253億円	7.1%	8,109億円	7.9%	111.8%
合計	10兆2,518億円	100.0%	10兆3,200億円	100.0%	100.7%

カテゴリー別構成比(2019年)



- ◆ 「カテゴリー別構成比」では米飯類、一般惣菜が多いが、年々その割合は低下。
- ◆ 調理麺、袋物惣菜の割合が増加しており、2019年は共に二桁増となっている。

## ①最近半年間での品目ごとの購入頻度（各品目を半年間で3回以上購入した消費者の割合）

	1位	2位	3位	3位	5位
首都圏	弁当	おにぎり	コロッケ	鶏の唐揚げ	サンドイッチ
	( 52.6% )	( 51.0% )	( 41.4% )	( 40.4% )	( 39.8% )

- ◆ 首都圏では、前回の1位と2位が入れ替わり、「弁当」が1位となった。
- ◆ 「おにぎり」と「弁当」は半数以上の消費者が半年間で3回以上購入している。

## ②スーパーマーケットにおける購入頻度の高い惣菜 上位5品目

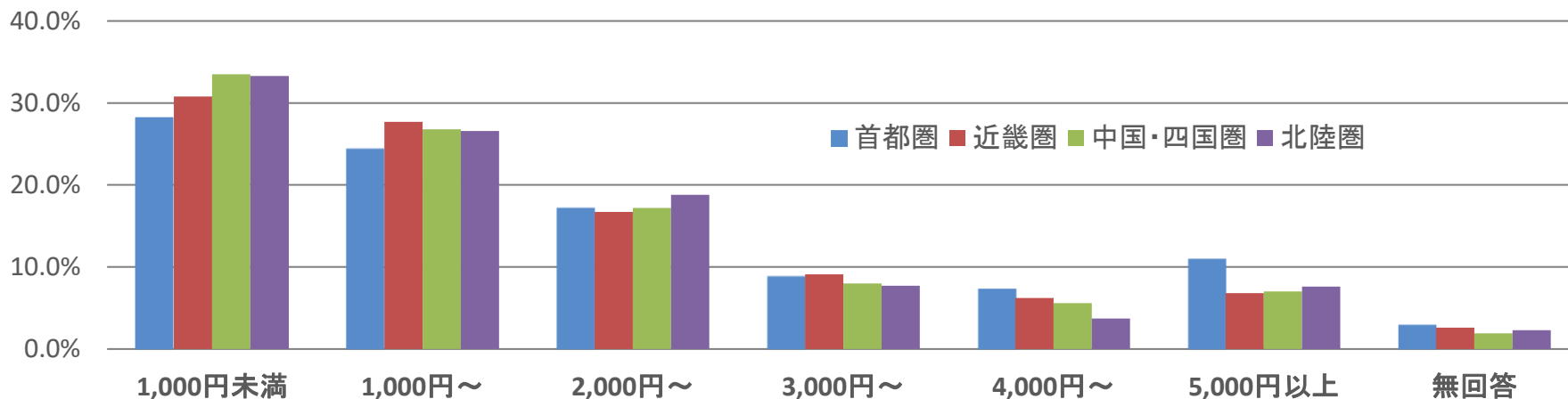
	1位	2位	3位	4位	5位
首都圏	コロッケ	にぎり寿司、巻寿司	鶏の唐揚げ	天ぷら	ギョーザ／野菜サラダ
近畿圏	コロッケ	にぎり寿司、巻寿司	鶏の唐揚げ	天ぷら	いなり寿司
中国・四国	コロッケ	鶏の唐揚げ	にぎり寿司、巻寿司	天ぷら	お好み焼き、たこ焼き
北陸圏	コロッケ	鶏の唐揚げ	にぎり寿司、巻寿司	天ぷら	いなり寿司

- ◆ 全てのエリアの1位は「コロッケ」。
- ◆ 首都圏5位の「ギョーザ」および「野菜サラダ」、中国・四国5位の「お好み焼き、たこ焼き」以外は、揚げ物のおかず類と寿司類で構成されている。

惣菜白書本誌では、業態別・エリア別以外にも、時間帯別（朝食・夕食等）や食事機会別（普段・来客時等）のデータを見ることができます。



## ③惣菜の月平均購入金額



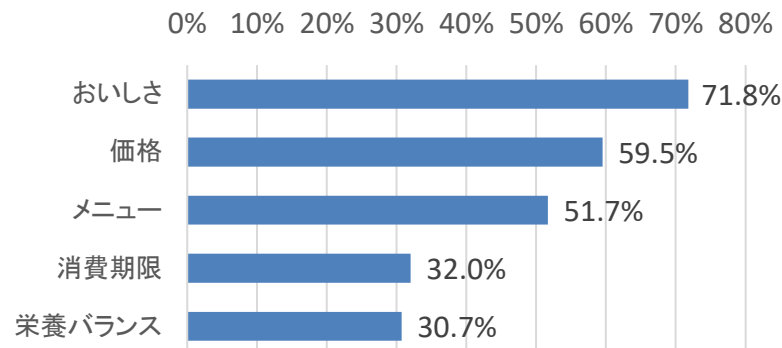
◆ 各エリアともに“2,000円未満”が半数以上を占めている。首都圏は他のエリアに比べ月平均購入金額が高い。

## ④惣菜を購入するときの1品の単価の目安

%	首都圏	近畿圏	中国・四国圏	北陸圏
200円未満	17.8	20.3	21.1	23.6
200～300円未満	38.7	41.2	44.6	45.8
300～400円未満	23.2	22.5	23.3	19.1
400～500円未満	10.4	9.3	6.4	6.5
500～1,000円未満	6.4	3.7	2.3	2.2
1,000円以上	0.6	0.5	0.4	0.6
無回答	3.0	2.6	1.9	2.3

◆ 他エリアに比べて首都圏の1品の単価の目安が高い。

## ⑤惣菜購入時の選択基準



◆ 各エリアとも「価格」より「おいしさ」を重視する傾向が続いている。

惣菜白書本誌では、4年間の時系列で詳細データを見ることができます。

## ⑥おせちの購入

	首都圏	近畿圏	中国・四国圏	北陸圏
購入した	14.5%	19.8%	15.3%	13.8%
購入していない	85.5%	80.2%	84.7%	86.2%

## ⑦恵方巻の購入

	首都圏	近畿圏	中国・四国圏	北陸圏
購入した	30.7%	47.0%	43.9%	33.2%
購入していない	69.3%	53.0%	56.1%	66.8%

## ⑧袋物惣菜の購入

	首都圏	近畿圏	中国・四国圏	北陸圏
購入した	28.0%	30.1%	26.5%	27.9%
購入していない	72.0%	69.9%	73.5%	72.1%

惣菜白書本誌では、4年間の時系列でエリア別、購入場所(チャネル)別、単価別等の詳細データを見ることができます。

### 企業調査の対象企業

- 業態ごとにサンプルを抽出し、それぞれの本部にアプローチして調査を実施
- 回収数

	対象店舗数(店)	対象企業数(社)
百貨店	42	5
GMS	1,416	10
SM	3,398	40
CVS	55,407	5
専門店	7,770	40
合計	68,033	100

### 消費者調査の対象

- 調査対象;首都圏(1都3県)、近畿圏(2府3県)、中国・四国圏(9県)、北陸圏(3県)に居住する20代~70代の女性を対象に実施
- 回収数

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
首都圏	302	315	306	316	313	1,552
近畿圏	308	313	308	309	316	1,554
中国・四国圏	266	266	259	264	260	1,315
北陸圏	153	160	159	159	158	789
全体	1,029	1,054	1,032	1,048	1,047	5,210





■ 2020年版 惣菜白書

■ 発刊日 2020年6月1日

■ 価格

会員・賛助会員・協力会員 惣菜管理士・惣菜管理士養成研修受講生 学生・学校関係者・図書館関係者	3,000円 (消費税・送料含)
一般企業・一般個人	5,000円 (消費税・送料含)

購入のお申込みはこちらのQRコード、または協会HPよりお申込みください。



日本惣菜協会ホームページ → 出版物・調査研究 → 出版物のお申込み

【問い合わせ先】



TEL:03-3263-0957